

経営者への活きた言葉

徳を備えた人が人の上に立つべき 伊與田 覺(論語普及会学監)

1. 上に立つ者の重要な仕事の一つに、優れた人物を抜擢してその能力を十分に発揮させることがあります。中国古典「大学」には、「賢を見て挙ぐる能わす、挙げて先んずる能わざるは命なり」とあります。
立派な人物を挙げ用い、その能力を十分に発揮させることができないのは、上に立つ者の怠りであるという意味です。さらに、「不善を見て、退くる能わず、退いて遠ざくる能わざるは過ちなり」と続き、人が不善を働くのを見て退けることができなかつたり、退けても遠ざけて関係を断ち切ることができないのは、上に立つ者の過失であります。
2. 人間には、徳と才の両方が大切ですが、徳よりも才に優れた人を小人、才よりも徳に優れた人を君子と見ます。また、何事も自分中心で行動する人を小人、自分よりも他人を大切にすることを君子と見ることがあります。「此を国は利を以て利を為さず、義を以て利と為すと請うなり」。目先の利を求め、役に立つからといって小人を用いると、大局的には本当の利を得ることはできません。正しい行為を積み重ねて得られる利こそが本当の利です。義こそが利の本もととなるのです。
3. 戦後の日本は経済至上主義に傾いたため、本であるべき徳よりも財が重視され、国政にも反映されてきました。人の上に立つ者は、とりわけ国政を担う者はやはり徳を備えた君子であるべきだと私は思います。

(参考:「致知」2012年6月号)

経営者のための理念・哲学

CSRで信頼される企業を構築する

1. 東日本大震災から1年、震災直後、政府や行政の対応が後手後手に回る中、外国メディアなどから「称賛」されたのが日本企業の素早くかつ的確な反応だった。
ヤマト運輸は被災自治体の救援物資集積場所から避難所へ物資を輸送する「協力隊」を地域ごとに組織・被災地での後方支援にあたった。
2. 平成11年6月～10月に主要企業を対象にして行った調査では、「義援金・支援金など金銭的な支援を行った」企業は86.9%と9割近くに上り、「社員が現地で支援活動を行った」企業は29.1%に及んだ。企業が自発的に動けたのは、土台があったからだ。以前から企業はCSR(企業の社会的責任)への取り組みを始めていて、8割以上がCSRに関する専門部署・担当者を置く。
東北の支社・支店を足場にしながら、本社からの支援体制が整然と構築できたのは、CSRの関連部署が大きな役割を果たしていたからだ。

(参考:「週刊東洋経済」2012年3月17日号)